

「耐えられない試練に合わせられない」

I コリント10：10-13

堀田修一 25・1・5

I 神は今年も新しいことをされます。私は毎年、神の新しい御業を体験し続けています。新年礼拝の時に想像もしなかった神の恵みを、その年に神は、恵みの御業を行って下さいます。47年の牧会の中で、長い人生の中で、すべてがうまく行くという年はありません。毎年試練はありますが、神は試練と共に、すべてを結び合わせ働かせ益とし、神の恵みの御業を行われます。

今年も日々、神を見上げて歩みましょう。試練とともにおられる神の恵みを味わう時に、いやいやながらではなく、強制されてではなく、喜んで神の栄誉、福音を宣べ伝える者にされます！

「見よ、わたしは新しいことを行う。今、それが芽生えている。あなたがたは知らないのか。必ず、わたしは荒野（試練の中、進むべき道がないように見える試練の中）に道を、荒地（恵みの雨がなく働いても実がない地、奉仕をしても霊的な収穫がない地）に川（生ける水の川を設けて下さり救いを、渇いた心に命の水の川、生ける水による恵みの実）を設ける。…わたしが荒野に水を、荒地に川を流れさせ、わたしの民、わたしの選んだ者に飲ませるからだ。わたしのためにわたしが形造ったこの民（神に造られ救われた私たち神の民）は、わたしの栄誉（栄光、素晴らしさ、救いの福音、神の御業）を宣べ伝える」イザヤ43：19-21。

II 神は耐えられない試練に合わせられない。試練と共に脱出の道を備えられる。

1. 「立っていると思う（自分の力でうまくやれていると思いがち、油断している）者は、倒れないように（神に頼ることを忘れ神を見失い、悪に誘惑されて墮落しないように、悪、詐欺のSNS等の依存症にならないように）気をつけなさい」I コリント10：12。社会的に正しいと思われる仕事をしている人々も皆罪人で、一人一人の心に神に背く罪があります。裁判官も過ちを犯す、検察も偽証を造り出す、冤罪が起きる、警察も上層の巨大な組織に逆らえず、内部告発などできない、ある勇気のある告発者は、自殺に追い込まれる、自殺に偽造された殺人、政治家の裏金、庶民との感覚のずれ、上の立場、上の地位を利用し逆らえない人へのひどい不品行、人間の罪を上げればきりが無い。と同時に、ここに注意点があります。他の人の事だけを責めて、あのひどい人に比べれば自分の小さな悪はましだと自分のことを棚に上げてはいけません。あの人は悪い人。しかし私は、正義の人と思った瞬間、「立っていると思う人、思い上がる人、油断している人となってしまっている」。聖書は明確に語る。すべての人、私たちの心にも罪があります。罪、悪のない国は世界にはない。そのすべての人の罪を認めさせ、悔い改めて主を信じることによる救い、新しい心を与えるために主はこの世に救い主として来られたのです。ここに最高の良き知らせ、福音があります。戦争や武器、武力は人々の命を奪い、片寄った正義感を振りかざす運動、世の人気取りの政治は、一時的に社会の制度を変えても、ある指導者が、強制的に自分の国をキリスト教国家にしても、最も大切な人の心を変えることは決してできません。しかし、世界中の一人一人が、福音を聞き、自分の罪を認め、主を心に

迎えるなら、主は新しい心、平和な心、愛と恵みとまことに満ちた心を下さる。一人一人の心に御国、神の国、神の支配、神の救い、神の愛、神の正義が来るなら、一人一人が平和をつくる人に変えられる。平和をつくる人の集まりの世界は、真の平和な世界となる。地道に、福音を愛をもって伝え続ける事、一人一人が主を心に迎える事が、世界に御国（神の支配、救い）が来る（主の祈り＝御国が来ますように）唯一の方法です。これこそ私たち主の教会の使命です。私たちが主の福音を伝えることは小さなことではない。この2千年間、キリスト者、主の教会が迫害があっても主の福音を伝え続け、神を礼拝する教会を建て上げ続けて来た結果→現在の世界の人口（約81億人）の中で主を信じている人は約23億。各宗教の中で最も多く、世界の人口の3分の1。これは、福音と御聖霊の力、神があきらめずにキリスト者や主の教会を励まし、福音、神の国、神の支配を広げ続けておられるからです。今年も祈りつつ、隣人に愛を示し関係作りをし、福音を伝えましょう、毎週の礼拝でみことば、福音が語られる教会に誘いましょう。世界中の宣教師、教職者の為に祈り世界宣教と教会形成（御国、神の御支配の拡大）の為に祈りましょう。

2. 「あなたがたの経験した試練は皆、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えて下さいます」Ⅰコリント10：13。現在、今年、試練があっても、神は支えて下さいます。

①「人の知らないものではありません」

i 自分だけが、このような試練、苦しみを受けていると自己憐憫に陥ってはならない。歴史上、多くの人が、あなたの経験している試練、辛さを味わって来た。今も、世界中で、あなたと同じような試練、それ以上の試練、苦しみを受けている人がいます。能登、ウクライナの人々。あなたは独りぼっちではない。神がともにおられ、神に祈り支えてくれる人も備えられている。

ii 神であるのに人となられた主イエスは、試練、世界の中で最高の不当な苦しみを受けられた。その主があなたの辛さを理解し、支えて下さる。

②神は私たちを「耐えられない試練にあわせられない」。自分の力で試練に耐えようと無理をする人はいつかメンタルと体が病む、倒れる。神に心からより頼むなら、神は試練に耐える力、忍耐を下さる。神はその試練を通して、私たちを霊的に成長させて下さる。神の御手を離れた試練はない。試練ともに神がおられる。

③試練とともに「脱出（原語：出口、脱出、終わり、結末）の道も備えて下さいます」。脱出の道とは

i DV,暴力から安全な場所に導かれる。神は、この世の機関、福祉、警察、保護の体制等も用いられる。

ii 脱出の道とは、神が試練の 때가満ちて、終わらせられるという道。神の摂理、御計画による結末がある。「ヨブの忍耐の事を聞き、主によるその結末（「脱出」と同じ原語）を知っています。主は慈愛に満ち、あわれみに満ちておられます」ヤコブ5：11

iii 脱出の道とは、試練と向き合い、神に拠り頼みつつ耐え、神が学ぶべき霊的な学科を学ばせ、

神が支えて下さるといふ道。「苦しみにあつたことは、私にとって幸せでした。それにより、私はあなたのおきてを学びました」詩篇119：71。iv天国への道。

Ⅲ 意味のない試練、患難はない。私たちは、主にあつて意味のある事と自覚する時に前向きにとらえる力が与えられます。神はすべて（試練、患難）を益（神にもっと近づく、主の姿への成長）とされる。

「苦難（試練）さえも喜んでいます。それは、苦難が忍耐（不安定な心で大切な決断をしない。神からの使命をすぐに投げ出したりせず神に頼り辛抱強く持ちこたえる、祈りつつ神の時を待つ）を生み出し、忍耐が練られた品性（原語：試験済みの品質。試練の中でも神からの使命を投げ出さない品性。私たちの為の苦しみを避けないで耐え忍ばれた主に似る品性）を生み出し、練られた品性が希望（この世では神がいつもともにおられ、すべてを益とされる希望。世の終わりに主が再臨され、不条理な悪への正しいさばきと救いの完成と新天新地の誕生の希望）を生み出すと、私たちは知っているからです。この希望は失望に終わることはありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです」ローマ5：3-5。新しいことをなさる主、試練の中で支えて下さる主に感謝します！